

カフェ・売店等の事業概要 (案)

令和 6 年 2 月

厚木市 市街地整備課

はじめに

このカフェ・売店等の事業概要（案）は、事業者へのサウンディング型市場調査を円滑に行うことを目的として、令和4年9月に完了した厚木市複合施設基本設計（以下「基本設計」という。）及び現在着手中の実施設計における検討項目や考え方を整理したものです。

なお、本資料は、サウンディング型市場調査の参考資料として扱うものであり、カフェ・売店等の業務内容を確定するものではありません。

1 複合施設の概要

(1) 複合施設建設予定地の特徴

ア 中心市街地の核

本市は、昼夜間人口比率が119.9%（国勢調査（令和2（2020）年））と県内19市では最も高く、昼間は、夜間（約22.4万人）と比べ約3.4万人多い約26.8万人の人口を抱えています。また、小田急小田原線本厚木駅は、乗降客数が約11.5万人／日（小田急電鉄株式会社発表（令和4（2022）年度））であり、小田急線全70駅のうち7番目に多く、乗換えのない関東大手私鉄の鉄道駅の中では最も多い駅となっています。

このような特徴を持つ本厚木駅東口に隣接する複合施設の建設予定地は、小田急線や相模川からの視認性が高く、市内外から多くの人々が通勤や通学で訪れる本市の中心市街地の核となる区域です。

イ 交通アクセス性

建設予定地の西側に隣接する厚木バスセンターは、地下で本厚木駅前東口地下道により本厚木駅と接続されており、市内全域を結ぶ公共交通として約1.7万人／日（厚木市調査（平成26（2014）年））が利用しています。また、建設予定地の北側には、本厚木駅周辺では最大の駐車場である中町立体駐車場が整備されています。建設予定地周辺は、鉄道、バス、自動車など、様々な交通手段により容易なアクセスが可能な区域であり、本市の重要な交通結節点となっています。

ウ 拠点性

建設予定地の周辺には、保健福祉センターや厚木シティプラザに加え、商業施設である厚木ガーデンシティビルが立地しています。また、隣接地には、あつぎ市民交流プラザ、子育て支援センター及び商業施設からなるアミューあつぎが立地しています。このように、市民生活を支える充実した公共・民間施設が集積する高い拠点性を有しています。

エ 複合施設内のカフェ・売店等の設置に係るこれまでの検討経過

カフェ・売店等の設置については、複合施設建設予定地周辺の充実した飲食環境、複合施設の開館時間に伴う店舗営業時間の制約、搬入動線等のレイアウト上の制約のほか、民間事業者からの意見を踏まえ、現段階においては、食堂ではなく、軽食等を提供するカフェ・売店を設置することが適しているものとして、実施設計において継続して検討を進めています。



(2) 複合施設の基本理念

複合施設は、図書館、(仮称)未来館及び市庁舎を始め、消防本部や国県の行政機関等の機能をもって構成します。多様な人々が集まり交流が生まれる可能性を持った場所となることから、複合施設整備の基本理念は、人々が日々の課題を乗り越え、未来を創造していく、あらゆる世代の皆様にとっての居場所となることを目指し、次のように定めています。

複合施設整備の基本理念
いきいきと生きる日々、すてきな時間を過ごすことができるサードプレイスを目指して
「いい日々、いい時間。」

(3) 複合施設の基本方針

基本理念を踏まえた複合施設が目指す具体的な方向を示すものとして、次のとおり、基本方針を定めています。

複合施設整備の基本方針

- (1) 誰もが訪れやすく、一人一人に合わせたサービスを提供する施設
- (2) あらゆる世代の皆様にとっての居場所や気付きの場となる施設
- (3) 複合化によるメリットをいかし、絶え間ない交流、活動が生まれる施設
- (4) 将来変化に柔軟に対応し、長きにわたり利用することができる施設
- (5) 中心市街地のシンボルとして誇りと愛着を感じることができる施設

(4) 建物概要（基本設計完了時）

ア 複合施設

用 途：図書館、未来館、市庁舎、国県の行政機関

建築面積：約 5,500 m²

延床面積：約 46,800 m²

高 さ：約 43m

階 数：地下1階、地上9階

構 造：鉄骨造、免震構造

イ 駐輪・受水槽棟

用 途：駐輪場（約 120 台）

建築面積：約 175 m²

延床面積：約 350 m²

高 さ：約 9m

階 数：地上2階

構 造：鉄筋コンクリート造

ウ 新立体駐車場

用 途：駐車場（自動車約 240 台、自転車約 100 台）

建築面積：約 1,300 m²

延床面積：約 7,600 m²

高 さ：約 22m

階 数：地下1階、地上7階

構 造：鉄骨造



(5) 対象施設 ※ 今後の検討状況により変更になる場合があります。

ア カフェ・売店

(ア) カフェ

場 所：1 階南側エントランス付近

規 模：約 122 m²（座席約 96 m²、厨房約 26 m²）

座席数：約 40 席（屋内のみ）

概 要：滞在型施設として飲食（軽食）のみの提供にとどまらず、市民交流の場となる役割を持つ。

課 題：必要設備（厨房設備仕様）、収益性、市イベント連携、売店との関係

(イ) 売店

場 所：1 階南側エントランス付近

規 模：約 78 m²

概 要：販売物の提供にとどまらず、市刊行物の販売を始めとする市と連携する役割を持つ。

課 題：収益性、市イベント連携、カフェとの関係

イ 市民ロビー（自販機、飲食コーナーほか）

場 所：8 階西側

規 模：約 187 m²

座席数：未定

概 要：市民利用スペースとして活用

課 題：管理手法

(6) 前提条件

ア 内装

(ア) カフェ・売店ともに床・壁・天井仕上とする。（別添個別開示資料 2）

(イ) 使用許可期間（未定）終了後は原状復旧するものとするし、費用は運営事業者負担とする。

イ 厨房設備等

(ア) 厨房設備については、本市では準備せず、運営事業者の負担で準備することを想定する。（別添個別開示資料 2）

(イ) その他不足する設備等の設置については、本市と協議の上決定し、運営事業者の負担で準備するものとする。

(ウ) 使用許可期間（未定）終了後は原状復旧するものとするし、費用は運営事業者負担とする。

ウ 予定賃料 ※ 現レイアウト面積による概算

(7) カフェ

a 厨房部分のみ (26 m²) の場合

: 年額 約 100 万円 (月額 約 8.3 万円、坪単価 約 1 万円)

b カフェの貸付範囲に座席を含む (122 m² (座席 96 m²、厨房 26 m²)) 場合

: 年額 約 480 万円 (月額 約 40 万円、坪単価 約 1 万円)

(イ) 売 店 (78 m²)

: 年額 約 310 万円 (月額 約 25.8 万円、坪単価 約 1 万円)

(ウ) 市民ロビー (8 階)

: (自販機の場合) 1 台につき年額 13,000 円

(エ) 共益費は、上記予定賃料に含まず、別途協議するものとします。

(オ) カフェ・売店等の営業に必要な電気、水道等の光熱水費は、実費額を運営事業者が負担するものとします。

(カ) カフェ・売店等の営業に伴い発生するごみ処理等の経費は、排出量に応じた実費額を運営事業者が負担するものとします。

エ その他

カフェ・売店等の休憩室、更衣室、倉庫等については、(5) 対象施設の面積に含むものとし、現レイアウトでは専用区画としては設けていません。

(7) 予定開館時間

ア 市庁舎窓口

平 日 : 午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分まで

土 曜 日 : 午前 8 時 30 分から正午まで

閉 庁 日 : 原則、日曜、祝日及び年末年始

イ 図書館、(仮称) 未来館

月～土曜日 : 午前 9 時から午後 9 時まで

日曜・祝日 : 午前 9 時から午後 7 時まで

休 館 日 : 原則、月 1 回及び年末年始

ウ 広場的スペース

月～土曜日 : 午前 8 時 30 分から午後 10 時まで

日曜・祝日 : 午前 9 時から午後 10 時まで

休 館 日 : 原則、月 1 回及び年末年始

(8) 来館者数の想定

約 230 万人/年 (5,876 人/日)

【参考データ】

・ 現中央図書館の利用者数

貸出者数 330,732 人/年 平日来館者約 1,680 人/日 休日来館者数 2,030 人/日

- ・ 現子ども科学館の利用者数
展示ホール来館者数 平日約 100 人/日 休日約 270 人/日
- ・ 現本庁舎・第二庁舎の利用者数
平日約 8,000 人/日 土曜約 340 人/日

(9) 今後の予定

- 令和 5 年度（現在） : 実施設計
- 令和 6 年度～令和 8 年度 : 実施設計、本体工事
- 令和 9 年度 : 展示内装工事、移転、供用開始

(10) 前回(令和 4 年度)実施したサウンディング型市場調査の結果概要

● 調査の方法

ア 個別対話の対象者

次のいずれかに該当する者を除き、カフェ運営事業の実施主体となる意向を有する事業者（個人、法人又はグループは問いません。）としました。

- (ア) 厚木市暴力団排除条例（平成 23 年厚木市条例第 12 号）に定める暴力団員等、暴力団経営支配法人等又は暴力団員等と密接な関係を有すると認められる者
- (イ) 神奈川県暴力団排除条例（平成 22 年神奈川県条例第 75 号）第 23 条第 1 項又は第 2 項の規定に違反する者

イ サウンディング対象施設の概要

施設名称	厚木市複合施設
整備予定地	厚木市中町一丁目 717 番地 1 ほか
敷地面積	約 12,800 m ²
延べ面積	約 46,800 m ²
カフェ・ショップ部分の概要	約 175 m ² （キッチン約 30 m ² 含む） 屋内約 60 席・屋外デッキ約 20 席
有料席の概要	約 108 m ² ・約 40 席
供用開始	令和 9 年度内

ウ 個別対話の項目

対話の項目
本事業への参加について
運営に関する内容について（運営、契約期間など）
施設計画について（面積、設備、搬入の条件など）
自由提案及び意見

● 調査結果の概要

ア 個別対話の参加者数 7 者

イ 主な意見及び提案等 次のとおり

ア 本事業への参加について【参加検討における本事業の評価及び懸念事項】	
	<p>主な意見の要約：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドミナント出店^{注1}が可能なため本事業への参加を検討している。 <p>注1：飲食店等が特定の地域に集中して出店し、知名度の向上や配送の効率化を行う出店方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アミューあつぎなどの周辺子育て支援施設の利用者減少を懸念している。 <ul style="list-style-type: none"> ・1階の施設利用者が利用しやすい環境にあるので、売上を見込むことができると思う。 ・出店判断は、売上見込みに到達しうる商環境であるかどうかによる。また、想定する広さが提供されるのか、カフェ以外の事業（自動販売機の設置など）を受託することが可能かなども判断材料になる。 <ul style="list-style-type: none"> ・厚木市の行政、文化的施設の拠点として期待を寄せている。 ・駅前の目立つ場所であるので、コーヒーショップとして出店したいという希望がある。
イ 運営に関する内容について（運営、契約期間など）	
【連携機能としての役割提案】	
	<p>主な意見の要約：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣飲食店との差別化として、親子カフェを提案している。キッズメニューの充実や、離乳食の持込みを可にしたり、粉ミルクを作れるようにしている。また、小上がり席を用意するなど、子育て中の母親に利用してもらいやすいような店を考えている。 ・本施設で出店するなら、全年齢を対象にしつつ、親子連れにやさしい店としたい。 ・講師を呼び、店舗で子育て関連のイベント等を行っている。 ・職員の厚生室に無人レジの売店やフードの自動販売機を設置することが考えられる。 ・市での会議時に食事の特注受付は可能。 ・テイクアウト対応で連携したい。
【地域貢献について】	
	<p>主な意見の要約：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の対応として、災害用自販機の設置やパックのドリンクの提供、コンセントの貸出などが可能。 ・メニューは、地場に合わせて一から制作するため、地元生産者様から仕入れた原材料で「とん漬け」や「鮎の塩焼き」を中心にした和ダイニングメニューを想定している。 ・市の鮎や友好都市の特産品をメニューに加えることなどは可能。 ・災害時の炊出しに店にある食材を提供することは問題ない。 ・災害時の商品供給などは可能性がある。 ・厚木市民を優先したスタッフ採用を検討することができる。（2者） ・地域食材を使ったメニューを検討することができる。（チェーン展開している全店舗で採用された場合） ・できるだけ地域食材を使用したいが、メニュー構成やオペレーションによる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消のメニューや商品の提案ができる。近隣市でも実績がある。事業者の募集段階で地域の特色をいかしたメニュー提案を条件にしてもらえらるほうがよい。 ・売場に厚木市コーナーを設置したり、イベントに合わせた物販が可能。
【営業日、営業時間について】	
	<p>主な意見の要約：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー層をターゲットにする場合、夜間売上に苦戦する。本施設の場合、児童図書スペースの開館時間に合わせるのが適当と考える。 ・飲食店のスタッフ採用は、業務内容がイメージ的に厳しいと思われるっており難しい傾向にあるが、親子カフェについては、従事希望者が一定数おり有料の求人媒体使わなくても採用ができる。 ・スタッフは25人程度でシフトを組み7,8人で営業し、テーブルでオーダーを取るフルサービスが基本となる。 ・カフェの営業時間は、一般の利用も多い11:00-15:00などが考えられる。売店の営業時間は、庁舎の事例では平日の8:00-19:00などがある。 ・平日8:00-20:00。土・日・祝日営業については、状況を見て検討したい。 ・商環境に合わせた営業日・営業時間になるが、職員の出勤時間から退勤時間まで営業したい。 ・施設側要望で無休対応も可能だが、できれば定休日を設けたい。
【想定メニュー、価格について】	
	<p>主な意見の要約：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とん漬け・鮎の塩焼きなど地産地消メニューが作りやすい「和食ダイニング」を想定している。 ・子育て世代が利用しやすい価格に設定。定食1,300～1,800円、キッズメニュー700～900円、コース2,500円～5,000円を想定している。 ・カフェのみでも問題はないが、客単価が上げるには食事も提供する食堂・レストランの方がよい。 ・フランチャイズチェーンのメニューに準じる。 ・売上目標に応じたパッケージとして提供できる。 ・ベーカリーカフェは、1個概ね150円前後を想定。 ・自社製造のコーヒー豆を使用したコーヒーメニューを中心としたドリンク、軽食、ランチメニュー等。現段階の想定では、ドリンク350円～650円、デザート・軽食・ランチ600円～。 ・フルサービスとなると人件費がかかるので、基本的にはセルフサービス式を考えている。食事の提供は、市から要望があれば検討する。
【売店の運営について】	
	<p>主な意見の要約：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店運営、テイクアウト販売、デリバリー販売、自動販売機設置の仲介、イベント時の屋外販売。 ・これだけの利用数ならば大手のコンビニエンスストアが入る可能性もあるだろう。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンビニエンスストア程度の売店を設けるのであれば、カフェと一体で募集した方が良い。 ・ コーヒー豆、焼き菓子、サンドイッチなど、カフェ関連の物販商品を扱うことができる。 ・ コンビニエンスストアとベーカリーカフェの併設について実績がある。パン、おにぎり、お弁当、サンドイッチ、麺類、サラダ、乳飲料などの日配品、カップラーメン、機能食品（カロリーメイト・ソイジョイなど）、菓子類、アイス、一般雑貨など。 ・ 取扱商品は限られると考える。売店となると別発注の方が良い。
【有料席の運営について】	
	<p>主な意見の要約：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食店の運営と併せた有料席の管理は難しい。 ・ 検討の対象外としたい。 ・ イートインの席数の増などにも繋がるため出店時に再検討したい。 ・ 人件費コストを考えると難しいと考えるが、市から要望があれば検討する。
【食堂の設置について】	
	<p>主な意見の要約：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員食堂の特徴として、職員が一度座ると長居され、回転率が悪く売り上げが伸びない傾向にある。 ・ 駅に近いので、食堂を設けても価格帯次第では外の施設に行ってしまうかもしれない。 ・ 200㎡を切ると食堂としての営業は難しいと考える。 ・ 食堂運営するノウハウがないため意見なし。 ・ 職員が100%食堂を利用するわけではないので庁舎での食堂は厳しいと聞いている。喫食率にもよるが、職員が1,700人いれば応募する事業者はいると考える。 ・ 食事の提供については、複合施設に来る人の食事の需要がどこまであるかによる。 ・ 仮に席数80席とすると、フルサービスの場合ホールに5人、厨房に2～3人が必要になる。
【募集時期、契約期間及び賃料について】	
	<p>主な意見の要約：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約期間は初回5年程度が理想。 ・ 電気、ガス等の設備の段階から協議するのであれば2～3年前からだやりやすい。厨房機器の設置などの段階から調整する場合は1年程度前が良い。 ・ テナントとして入る場合5年程度の期間が多い。 ・ 一般的には開庁1年前に公募、10か月前に事業者決定が多い。 ・ 事業期間については、投資と原状回復のことを考えると10年は必要。 ・ 運営的には週1日定休日があると良い。 ・ 採用については、厚木は学生が多いのでやりやすいだろうと考えている。 ・ 募集時期については、あまり短いと問題発生しがちなので、1年半前に公募、1年前に決定するくらいが良い。業者決定後に給排水の立ち上げ位置やコンセントの落とす場所など協議し、円滑に工事を進めたい。 ・ 公募から申込期限までは最低2～3週間が必要。

	<ul style="list-style-type: none"> ・契約期間は、償却期間が必要であるため、5年以上が望ましいと考える。 ・賃料については、概ね売上の1～2%が望ましい。 ・募集時期は、レイアウト・設備等が決まっていれば1～2年前が良い。 ・期間については、5～6年程度が目安になる。
<p>ウ 施設計画について（面積、設備、搬入の条件など）</p>	
<p>【面積、席数について】</p>	
	<p>主な意見の要約：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・十分な面積・席数だが、子育て世代をターゲットにする場合は小上がり席・個室席が好まれる。一部で良いので小上がり席・個室を設置できると差別化できる。 ・店舗前テラス席の場合、ペット用の水道やペット用メニューの販売が効果的と考える。 ・テラス席については、見た目は良いが、経験上実際は利用者がほとんどいない。 ・コンビニエンスストアとしては、100㎡あれば十分すぎる。最小だと33-35㎡で十分成り立つ。 ・規模については、キッチン抜きで35坪を下回ると厳しい。大きい分には、カウンターから見渡せる範囲であれば良い。 ・規模については、カフェスペース（厨房を含む。）10～15坪、売店（バックヤードを含む。）13～15坪ほどで最低30坪あればよい。賃料にもよるが、席が増えることについては問題ない。 ・キッチンが店の奥にあると配膳で人手が必要になるため、入口付近にオープンキッチンを配置し、セルフサービスとしたほうが良い。 ・専用スペースと共用スペースの区画はセキュリティ上あったほうがよい。 ・店舗専用スペースと共用スペースの区画については、なくても良いが、厨房の部分は仕切りが必要になる。 ・ショップ専用スペースと共用スペースの境界は、不特定多数が通る場合は防犯上、間仕切りがあるほうが良い。 ・面積、席数より、厨房位置、客席位置等のレイアウトの方が重要と考える。 ・カフェスタイルでテイクアウトも考えるとカウンターが必要になる。
<p>必要設備について</p>	
	<p>主な意見の要約：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で飲食前の手洗いは絶対になっているので、客席に手洗いが必須になる。トイレが遠いと特に重要になる。 ・設備については、個別開示資料に記載のとおりで十分。シンクについては、保健所の基準を満たすか確認が必要。下膳用の棚はドアを開けずに入ってくることができるようになっているとよい。 ・冷凍庫は個別開示資料に記載のものより大きいものが必要になると思われる。 ・機器は募集側に準備してもらえると初期投資が少ないのでありがたい。特に、コーヒーマシンは200万円程度かかり負担が大きい。

- ・個別開示資料に記載の設備については、フライヤーと冷凍庫が足りないかもしれない。土日は搬入がないのでストックする場所が必要になる。コールドテーブルでもよい。
- ・麺を出すならパスタスチーマーなどが必要となるが、カフェなのか食堂なのかによって必要な設備が大きく異なるので先に大枠を示して募集されたい。
- ・ガスはなくてもよい。
- ・空調は個別に必要。夏場などはチョコレートが溶けるので常時必要になる。
- ・厨房機器については、予算枠だけ示してもらって機器は出店者が揃える方がよい。コーヒーショップでも店によって使う物が異なる。予算オーバーの部分は出店者が負担するという形でもよい。市が機器を提供する場合、メンテナンスはどちら持ちになるかなども調整が必要になるため、避けたほうがよい。
- ・ご飯ものはないので、炊飯器は不要。コーヒーマシンは1台では不足すると思われる。
- ・ガスは必要ない。他のコーヒーチェーンショップも同じと思われる。
- ・内装、空調、区域内までの給排水、電気立ち上げ、グリーストラップ、防水までは市にお願いしたい。機器の所有は出店者のほうがよい。
- ・什器については、あらかじめ準備されていればオーナー負担が減って良いが、冷蔵什器なども含めオーナー負担で募集される場合が多い。厨房機器は市で準備されるケースが多いと思われる。売店の販売什器は各業者様々なコンセプトのもと出店するため、オーナー負担のケースが多いように思われる。
- ・厨房設備については、何を提供するかによって異なるため、基本的なものは募集側が準備し、その他必要なものは出店者が準備する形がよい。出店者が負担した分は、家賃に反映していただきたい。
- ・食事メニューによってはガスが必要になるが施設側の要望があれば電気化も可能。
- ・換気設備が必要になる。

【内装について】

主な意見の要約：

- ・内装については、ある程度良くないと使ってもらえないが、こだわると費用がかかるため、最近ではコンクリート打ちっぱなしが多い。
- ・スケルトン渡しはかなり厳しい。事業者が入れ替わるときも決まりにくくなると思う。床壁天井までは仕上げてもらいたい。
- ・サインなどは出店者に任せた方がよい。
- ・内装は仕上げまでしてもらえると良いが、大手ゼネコンだとそこまでやらない場合が多いので、出店者の関係の会社が入る場合が多い。スケルトン渡しはやめてもらいたい。床はカーペットタイルが基本で、ブランドの色味に合わせてもらえればよい。
- ・施設側、設計者に従う。

【搬入経路、条件について】

主な意見の要約：

- ・常温原材料・資材を保管する倉庫スペースが足りないと感じる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員の更衣室や休憩スペースがないため、別スペースの確保が必要だと感じる。 ・搬入経路については、台車だと床を汚す可能性があるため、専用の出入口があると良い。 ・食堂だと朝5～6時の搬入が多い。コンビニエンスストアだとさらに早い時間帯になる。 ・2tロング車により、午前0～7時の間に毎日搬入がある。 ・朝の職員の利用や物品の搬出入を考えると屋外から直接店舗に出入りできると良い。 ・ゴミについては置き場を指定され、重さにより費用負担をしている事例がある。 ・3tトラックが搬入できる環境が必要。既存ルートに新規店舗を組み込むこと、納品時間が深夜～早朝であることから納品時間に制限がないような館内セキュリティをお願いしたい。また、納品に長時間かからないよう搬入場所から店舗はできるだけ近くしてもらいたい。 ・搬入口から台車でスムーズに搬入できれば問題ない。機材についても同様。夜間搬入はない。
【8階市民ロビーについて】	
	<p>主な意見の要約：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動販売機の設置についても併せて行いたい。 ・8階については、1階の店舗から商品を持っていくことはできるが、ある方が良いわけではない。職員の休憩室など、利用が職員に限られるのであれば、防犯カメラの設置が必要になるが無人レジでの対応も考えられる。自動販売機については、売上が競合するので1階の店舗とセットで募集される方が良い。 ・8階は毎日人が来る場所ではなさそうな印象を持つ。自動販売機がメインとなるならば別発注としてもらった方が良い。人を配置することは難しい。
エ 自由提案及び意見	
	<p>主な意見の要約：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂の開催を提案する。隣接する「アミューあつぎ」を拠点とする幼稚園送迎ステーションの利用後に帰宅する子育て家庭をターゲットに子ども食堂を開催すれば、効果的に子育て支援ができる。それを最新の公共施設で行うことに意義があると思う。 ・テイクアウト率が高くなるので、館内で飲食できると良い。 ・賃借料の軽減措置があると良い。 ・食品衛生の観点から全館一致の空調設備ではなく売店及びカフェ区画には独立した空調設備と換気設備の設置をお願いしたい。 ・まだ具体的な提案を持ち合わせていないため、市の要望も踏まえた上で、出店の可能性を検討していきたい。現時点では是非出店したいと考える。